

会 議 録

名 称	令和5年度第2回坂戸市いじめ問題対策連絡協議会
開催日時	令和6年2月7日(水) 10時00分 開会・ 11時50分 閉会
開催場所	坂戸市立教育センター 2階研修室
出席委員氏名	太田 久美子、小林 正明、秋山 直子、小島 慎介、佐藤 和恵、佐藤 道夫 田中 茂樹、市川 浩 8名
欠席委員氏名	細野 彰、大竹 智英、関口 豪 3名
傍聴者	0名
事務局等職員等職・氏名	教育長 太田 正久、教育部長 岡安 明久、学校教育課長 野口 潤也、 学校教育課副課長 市川 宗典、坂戸市立教育センター指導主事 金城 拓哉 弁護士 渡邊 祐樹、桜小学校長 原 一美、桜小学校教諭 西田 智子
会議次第	委嘱状交付 1 開 会 2 あいさつ 3 委員自己紹介 4 協議事項 (1) 坂戸市の現状と対策について (2) いじめ防止の視点等について 5 諸 連 絡 6 閉 会
配付資料	1 次 第 2 資料1 令和5年度における坂戸市のいじめの現状について 3 資料2 坂戸市教育委員会 学びづくりリーフレット 4 資料3 桜小学校 特別支援学級の取り組み
会 議 の 内 容	
発 言 者	発 言 内 容
教育長 事務局	委嘱状交付 1 開会
教育長	2 あいさつ
委員	3 委員自己紹介(就任した委員のみ)
事務局	4 協議事項 (1) 坂戸市の現状と対策について 資料1、2について、事務局から説明 (資料2の内容は、動画で授業の様子を示しながら説明) 資料3について、桜小学校職員から説明
委員	いじめの認知が学校間で差があるとのことだが、認知が少ない学校ではつらい 思いをしている子供たちが隠れているのではないか。

事務局	いじめの認知が学校間で差があるのは課題であると捉えている。いじめを積極的に認知して、漏れなく対応を進めていくことの大切さを今後も学校に伝えていく。
委員	坂戸市で行っている授業の進め方は、相手を認め合い自由な意見を言える良いものである。助け合って一つの問題をグループで解いていくと、話も膨らむし、いいつながりができてそれが相手を尊重することにつながると思う。このような授業は今後も続けてほしい。
委員	授業における話し合いは、勉強していて楽しくなるし、参加したという思いも強くなるのでとても大切である。対話も大切だが、それに活動による経験が加わると、友達のことをもっと深く知ることができるようになると思う。
委員	桜小学校の特別支援学級の丁寧な対応や季節ごとのイベントなど取組みのよさがよくわかった。
委員	坂戸市は学び合いの授業を早くから始めていることは知っていたが、コロナにより制限があったと思うが見事に復活していて素晴らしかった。生徒指導面からも、授業の中で自己決定の場が与えられていて、教員が共感的な理解をしていた。桜小学校の取組みも素晴らしかった。今後、このような良い取り組みを広めてもらいたい。
	(2) いじめ防止の視点等について いじめを防止するために必要だと思われる視点や取組について委員間で協議
委員	警察安全相談を実施しており、大きな問題とならないように対応している。夫婦喧嘩の口論でも心理的虐待になることがあるので、その際は子供からも話を聴くことがある。今後も、サインを見逃さず、学校と連携して対応していきたい。
委員	法務局では、人権相談を行い調査・救済の活動を行っている。小中学校には SOS ミニレターの事業を行っている。人権相談の際には、保護者から「これはいじめではないか」という相談が入ることもある。担任だけに相談したが、なかなか回答がないという場合は校長先生に相談することもよいと助言している。
委員	授業において子供をつなぎ関係性を作っていくようにさせている。また、授業をとおして困っている子を救い上げられるような教員の子供を見る目を育成している。わからないことや困っていることを言えるような子供を育てるようにしている。
委員	今は一人1台タブレットを持っているので、タブレットを活用して子供の相談につながると思う。
委員	いじめや不登校の防止には魅力ある学校づくりが重要で、文部科学省も言うように居場所づくりと絆づくりを推進する必要がある。学校が今実施している

	<p>行事を生かし、子供が自己有用感を持てるようにしていくとよい。例えば、異年齢集団による活動を効果的に行うことで、高学年の子供の自己有用感が高まっていく。不登校対策では、さいたま市はICTを使った支援を行っている。参考にしてほしい。</p>
委員	<p>担任がクラスや生徒指導の悩みや心配なことを言える風通しのよい雰囲気作りが大切であり、そうすることで、管理職にまで情報が伝わりやすくなる。</p>
委員	<p>障害のある友達と一緒に生活をし、ともに育っていくことは、他の子供たちの心を育てることにつながる。障害を持っている人をいじめの対象としないことにもつながっていく。</p>
事務局	<p>5 諸 連 絡 今年度の開催は最後であることについて説明</p>
事務局	<p>6 閉会</p>